

施 工 要 領

[施工上の注意]

下地

- ・適用下地は合板、石膏ボードなど。
- ・下地は不陸のないように平滑に仕上げてください。
- ・下地材表面のチリ、ゴミ、油、水分、サビ等は接着不良の原因となりますので取り除いてください。
- ・曲面への施工は R=400 程度の中でおさめてください。
- ・リフォーム等で下地に壁紙が残っている場合、壁紙を完全に剥がしてからの接着を行ってください。
- ・下地にペンキ塗装等が施されている場合、新規に下地をつくるか塗装を剥がして接着面の密着性を高めてください。

加工・切断

- ・切断はディスクグラインダ、丸ノコ、手ノコ、万能ハサミ、カッター等で切断できます。
- ・カットは裏面から行ってください。
- ・切断箇所は養生テープを貼った上から切断し、角欠けに十分周囲してください。
- ・手ノコをご使用の場合、細目の刃を使用してください。
- ・粉塵がでますので、防塵マスクやゴーグルをご使用ください。
- ・切断面(木口)はサンドペーパー等で面取りを行ってください。

[接着塗布]

- ・接着は、強力両面テープとボンドを併用して行ってください。
- ・接着剤 PS100 変成シリコン樹脂系ボンド(タイルメント社)をおすすめします。
- ・接着剤は振動、衝撃などに強く剥がれにくいものをご使用ください。
- ・酢ビ系、アクリル系接着剤の使用は避けてください。
- ・両面テープは粘着性のある厚み 1mm 以上のタイプをおすすめします。
- ・曲面での接着は両面テープの本数を増やして接着してください。

[貼付け]

- ・貼付けは水平垂直をしっかりと出してから行ってください。
- ・突き付け施工は避け、3mm 程度の目地を設けて貼付けてください。
- ・あて木を当て、プラスチックハンマーやゴムハンマーで表面を軽く叩き、下地との空きがないよう圧着を心がけてください。
- ・出隅に使用する場合、視界に入りやすい面を 1~2mm 長めに出しもう一方の木口を隠すように貼ると綺麗に仕上がります。
- ・室温が 5℃以上の環境で行ってください。
- ・ひび割れの可能性があるため、クリアコート等で表面を塗装した後の曲面への貼付けは避けてください。

[使用上の注意]

- ・形状及び性質上、液体がしみ込んでシミになることがありますので、水洗いは避けてください。
- ・汚れを気にする場合、クリアコート等で塗膜をはるようにしてください。
- ・屋外、浴室、床、高温高熱、暖炉、ストーブ、キッチン火元、油のかかる場所でのご利用は避けてください。
- ・使用状況により、表層の石が細かく剥がれ落ちる可能性があります。